

令和3年度

小規模多機能型居宅介護サービス評価

事業所自己評価一覧表

1. 参加人数： スタッフ14名（常勤12名、非常勤2名）
2. 個人アンケート配布： 14名（8月17日、18日）
3. 個人アンケート回収： 14名（9月15日）
4. 職員会議の期間： 令和3年10月1日～10月14日（全9回）

◆実施事業所

社会福祉法人 友の会

小規模多機能ホームほっとハウス

（ 八戸市田面木字神明沢 16-40 ）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月1日(13:30~14:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 清川、水野、田澤、舘、金濱

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	✓				14

前回の改善計画	① 引き続き、基本情報を基にご利用者やご家族に対しアプローチを多く持つ。初期1か月程度は、ご家族と送迎時や連絡帳にて、施設やご自宅での様子や言動をこまめに情報共有し、信頼関係を築いていく。その中で、不安なことなどを受け止め、支援をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	① 新規利用者の情報共有は出来ており、利用時にその情報と違う点などがあつた際には、都度ケアマネやご家族に確認し新しい情報を職員で周知することが出来ている。また、送迎時には顔を覚えて頂くように話をしたり、施設での様子や情報も報告することが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	10	4			14
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	7	1		14
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	10	4			14
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	4	4		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前の情報共有は習慣化できている。利用後、情報と違う所は日々のミーティングで話し合い、細かな気づきもケア記録や申し送りノートを活用している。また、職員同士でどうしたらよいか話し合いや相談をしている。 ・ケアマネから申し送られた情報をもとに、ご本人に聞いたり、ケアをしながら確認作業を行っている。そこでの気づきを職員同士で共有し、ご家族に確認しながら支援ができている。 ・利用開始前にアセスメントを行い、目標を達成するために支援内容を言語化している。何を目指すのか目標をケース会議で共有し、合意形成を図っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・遠方にご家族がいる方には、あまり連絡を取ることが出来ない。 ・連絡帳の日中の様子は、レクが終わっていない段階で書き始めることが多く、一人で何人分も書くことが多く、時間がなくても全員定型文みたいになってしまっていると思う。レクの様子だけではなく、普段の様子も記入するとよいのではないかと。 ・信頼関係の初期の関わり方として、ご家族(介護者)の何気ない会話から小さな要望をくみ取る。その為には、結論ではなく理由(背景・目的)に目を向ける。直接会ったときに、意向を確認するようにする。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 連絡帳にはレクの様子だけではなく、昼食時や午後の様子など1日を通して色々な職員が気軽にコメントを記入できるようにする。 ② 遠方にいるご家族には広報を送り、施設での様子を知って頂く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月2日(14:00~14:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 高屋敷、金光、内山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		✓			14

前回の改善計画	
① ケアプランの見直し時、ご利用者を対象に、ケア会議時にサービス内容について(アプローチ方法やケアの仕方など)を詳しく話し合い、職員で共有し統一した対応ができるようにしていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① 総合的にみると出来ていたと思うが、担当ご利用者以外の事だとできていないように感じる。また、少し期間が開くと忘れてしまうこともあった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	10	2		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	10	2		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	8	2	1	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	7	5	1	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 本人の目標や担当職員のモニタリングをもとに、ケア会議にて支援方法の見直しが出来ており、全職員がケアプランに関わることが出来る環境が出来ている。 会議の時にサービス内容について説明を聞き、職員間で意見交換することが出来ている。また、ケア方法の話し合いや、うまくいったケア、声掛けなどの共有も出来ているので、統一したケアが出来ている。 計画作成担当者が月1回プラン実施状況の評価を行い、ケース担当者が3ヵ月に1回、日々の振り返りを通して評価している。プランを見直しの際、ケース担当者と計画作成担当者が課題抽出しケース会議で日々の共有を図っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 時々統一したケアが出来ていないことがある。 認知症により本音が分からず、納得のいく支援が出来ていないときがある。 実践した(かかわった)内容を通して行う日々のモニタリングができていない。その為、具体性がない目標設定になっている。「転倒しない。」「安全に生活できる」等。 常にケアプランを意識した関りができていない事がある。会議で話あっても、日々のケアに反映されていない。ご利用者一人一人のケアプランが把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 担当職員がご利用者の情報収集や状況を把握し、ケアの内容をまとめ会議等で話し合い意見交換する事で、次の対応につなげていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月4日（13:30～14:00）

3. 日常生活の支援

メンバー 水野、岩沢、館、田澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組めましたか？	✓				14

前回の改善計画
① 成功した事例について、普段から職員同士で確認しあったり、ミーティングや職員会議で、振り返りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
① 事例については、会議やミーティングで取り上げるほかに、普段から都度職員同士で共有する頻度が多くなってきているため、安心した支援につながることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	3	6	4	1	14
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8	5	1		14
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	10	1		14
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	9	5			14
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5	8	1		14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご本人の状況に合わせ、変化があった際はすぐに職員で話し合い対応するようにしている。
- ・過剰な支援が行われないよう「できること」を奪わないようにしている。「できないこと」ばかり目を向けないよう、中立な視点を意識している。
- ・ケアマネジメントプロセスのアセスメント→計画立案→評価はできている。
- ・訪問サービス手順書を作成し、生活場面ごとに支援を具現化し記録や評価をしやすくしている。チームの情報共有や統一的支援になっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・失敗事例は多く出ているが、成功事例は少ないと思う。
- ・以前の暮らし「何ができるのか」「得意なのか」「職域」などアセスメントをするが、事業所で披露する場面が少ない。レクや行事という楽しみや機能回復の他に、利用者本位に活躍する場面があると援助感が変わらと思う。
- ・ケアマネジメントプロセスの「実施」が出来ていない。その為「評価」の目標達成や適正さ、状態変化への対応がケース会議で検討するまでいかず、再アセスメントに至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

① より良いモニタリングと支援計画、チームケアにつなげていくために、ミーティング時に毎日ケアプランを確認し、支援状況や情報共有する時間を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月14日(13:30~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 岩沢、高村、清川、斉藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			✓		14

前回の改善計画	① どういった地域資源があるのか、またその活用方法について勉強会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	① 地域資源についての勉強会ができていなかった。その為、現在活用している資源は理解しているが、それ以外にどのような地域資源があるのか理解できていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	10		1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	10		2	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		10	2	2	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	4	4	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご本人とご家族との関係もある程度理解したうえで支援できている。ご本人とご家族や介助者との関係については、良好な関係が維持できるような関りが出来ている。 ライフサポートプラン②(私の暮らしシート)を用い、時間軸でのご利用者の生活スタイルを可視化している。以前の暮らしぶりに近づくことを基本的な目標にしている。 今まで利用したお店、理容室、医療機関へ一緒に行き、ご本人と馴染みある人と顔を合わせる様になっている。 遠方にいるご家族との関係作りは、ラインなどのツールを利用し、日常生活の様子など情報提供している。ご本人と会えないご家族へは広報誌、ホームページを用いて、施設の様子を紹介している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 事業所が直接接していない時間に、ご利用者どのように過ごしているか把握していない。ご本人の近所や知人まで把握できていない。 地域資源を活用するまでには至っていない。田面木以外の地域についての資源などは知らない。現在活用しているものは分かるが、それ以外は分からない。民生委員を把握できていない。 社会生活全般をとらえるのは事業所だけでは限界がある。インフォーマルな資源(友人、近隣、民生委員、ボランティア、配食サービス)の活用方法、具体的ななかかわりが分からない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 地域でみていく為に、民生委員の役割や社会資源の内容、活用するまでの流れについて勉強会を通じて理解する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月6日(13:30 ~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 高村、岩沢、清川、田名部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		✓			14

前回の改善計画	① 高齢者世帯や日中独居世帯の状態を把握し、地域資源の活用に結び付けていく。
前回の改善計画に対する取組結果	①訪問等で状態を確認した内容を申し送り、他職員に情報共有した後、利用者のニーズに即した地域資源を支援へと結び付けていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	8	3		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	7			14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	8	6			14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	9			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・状況の変化やニーズに応じて変更されるプランについて、内容を把握し対応している。 ・ご利用者ニーズに合った通い、訪問、宿泊が提供できている。 ・日々の関わりや、ご利用者の行動や言動などを記録し、変化に気づくことが出来、ミーティングで他職員と共有し柔軟な対応が出来ている。 ・高齢者夫婦や独居のご利用者に対して、体調不良や状況に応じて、サービスを組み立て、ご本人が安心できるよう工夫している。ご本人の状態に合わせて地域資源をうまく活用できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・観察の不足から見逃しているニーズがあると思う。また、心理状況の把握までは難しい。 ・③について、通いの拒否がある人への援助技術(アプローチ方法)が言語によるコミュニケーションや課題中心「短期アプローチ」になっており、サービスに繋げることができない。長期的なアプローチ設定や柔軟な支援が難しい。 ・ボランティアやお店などに出かけることが出来ない。 ・地域資源活用については把握しきれていないこともある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 地域資源が何であるか不明な内容があったので地域資源の一覧表を作成しファイルで明解にする。 ② 訪問で対応に苦慮し支援が出来ない状況がある一方で、支援者が代わると支援が出来た内容が申し送りされてない事があるので、支援が出来た事柄を忘れず入力し情報共有できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月13日(13:30~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 岩館、高村、岩沢、内山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			✓		14

前回の改善計画	① 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、掲示物の内容を話し合い、地域の方と交流を図れる物やボランティア募集など工夫をしていく。また、公民館で慰問活動をしている団体に依頼をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	① 新型コロナウイルスの感染拡大の為、ボランティアや慰問活動など地域の方と交流する機会はなかったが、運営推進会議の中で、地域の方の話や意見を聞くことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	7	5	1	1	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5	4	3	2	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	2	11	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	2	11	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネを中心に他機関との会議を行っている。必要な情報は職員へ情報共有している。 ・新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、運営推進会議を実施している。 ・施設内に地域の方を呼ぶことが出来なくてもポスターを外に貼ることにより、通りがかった人の目に留まり、ここがどのような事業所なのか知ってもらえることができている。 ・地域包括ケア推進に向けて、医療介護関係機関が連携して継続的な治療・ケアが提供できるよう連携を図っている。特に入院。退院時、看取り期にそのほかのサービス期間(訪問看護、訪問リハ、福祉用具、医師連携室相談員、病棟看護師、PT、OT、ST、歯科医師、薬剤師)との連携を図り、ご利用者の状態を報告、質問や提案、相談を多職種と意見交換をしている。(事業所へも情報提供している) ・ご利用者、ご家族からも多職種で一貫した対応をしてもらい、安心しているとの声があった。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との交流や慰問は呼ぶことが出来ない。また、地域や自治体とのかわりがほとんどできていない。 ・看取り期の症状変化への迅速な対応が難しく、切れ目のない治療や支援内容(アプローチ)が十分にできなかった。介護計画の目標や終末期の方針を明確にできなかった為、2週間サービスが導入できなかった期間があった。その為、連携・協働がうまくいかなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域貢献・広報委員会を中心に掲示板の内容を定期的に検討し、地域の方に小規模多機能居宅介護や施設の様子を知って頂く。 ② サービス担当者会議に、ケアマネだけではなく事業所職員も参加し、他のサービス機関との連携・協働を図っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月8日(13:30~14:00)

7. 運営

メンバー 水野、高屋敷、田澤、橘

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	✓				14

前回の改善計画	
①	インシデント・アクシデントの報告書が完成したら、提出用と回覧用を用意し、すぐに他職員が回覧できるようにする。すぐに職員間での情報共有をし、再発防止に努めていく。
②	広報誌や写真、ホームページ活用を継続する。ご家族へ施設の様子などが映ったDVDなどを貸出し、事業所での様子や雰囲気などを知って頂くようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	
インシデントやアクシデントについては速やかに報告書を作成し、全職員が周知できる環境を整えることが出来たため、すぐに改善策を実行でき、利用者が安全に過ごしていただけるよう対応できた。広報誌等は継続して出来ているが、DVDの作成等はできなかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	3	7	4		14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	8			14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	2	2	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	3	1	8	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者・ご家族から苦情や意見があった際はすぐに共有し、全職員で対応策を検討している。 ・広報誌やホームページの活用により、活動内容は情報共有できている。 ・リーダーや職員と、業務内容や事業所の環境について話し合う機会を作り、事業所で対応できることは迅速に対応し、できない時は法人本部に助言を求めている。 ・住宅地と国道に挟まれたエリアなので地域住民がショートカットして敷地内を通っている。 ・満足度アンケートを実施している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのかかわりが少ない為、地域の方からの意見や苦情を聞く機会が少ない。 ・地域との協働した取り組みができていない。また、地域に出ていく機会がない。 ・事業所の魅力や実施している事を地域にうまく発信できない。 ・入社して間もないことから、事業所のあり方や運営については十分理解できていない部分もあり、自分の意見は言えていないと思う。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①	町内会の掲示板を使用させていただけるかを確認し、掲示していただければ事業所の活動を知っていただくためのチラシを作成する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月9日 (13:30~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 岩館、高屋敷、金濱、斎藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		✓			14

前回の改善計画	
① 地域連絡会に、管理者やケアマネだけではなく、他職員も参加しスキルアップに努めていく。 ② 研修の案内が来た際は、参加の有無にかかわらず、どのような研修があるか全職員が周知できるようにしていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① コロナ禍の為、地域連絡会に参加することが出来なかった。 ② 研修の案内は回覧に挟み全職員が周知できるようにし、希望があれば研修に参加できる環境を整えている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7	6	1		14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7	5	1	1	14
③	地域連絡会に参加していますか		2		12	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	9			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクに対する意識しており、職員間で意見交換や予防策を考えている。 ・インシデント・アクシデント報告書は職員間で共有し、分かりやすく作成している。 ・オンラインを使つての研修や内部研修に参加されている。また、オンライン研修は参加しやすい。 ・オンライン研修になったことで移動時間のコストがかからず、業務調整しやすく効率的に社外研修へ参加できた。知識不足だった分野を短期的に学習でき、スキルアップになった。 ・内部研修は月2回設定されているので、どちらか参加することができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、参加したくても場所によっては行けなかったり、中止になったりする研修もある。 ・オンライン研修は充実してきているが、実地研修は少ないため、職種間の交流は減っている。 ・一度起こしたインシデント・アクシデントを、しばらく時間が経つと繰り返してしまう。 ・コンプライアンス教育の就業規則や社内規定は遵守されているが、倫理やモラルの対策ができていないと感じる。行動だけではなく、言葉によるハラスメントや相手の気持ちが重視される時代になっている為、さまざまなクレームやリスク回避にむけてみんなの意識を合わせる。業務中に過度な私語はコミュニケーションとして必要だが、業務に差し支えない程度にどどめる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① コンプライアンスについての勉強会の実施やケア会議で言動を振り返り、倫理観の共通意識の統一を図る。 ② インシデント・アクシデントについての対応策について、「なぜそのようになったのか？」までを検討し、再発防止に努めていく。また、定期的に振り返りをし、その時に合った対策を都度検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月11日(13:30~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 金光、清川、田名部

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		✓			14

前回の改善計画	
① 成年後見制度について勉強会を実施するとともに、活用する利用者があった場合、都度会議等にて経過や取り扱い等、全職員の理解を深める。 ② プライバシーや虐待について、日常のケアの中で職員同士確認しあえる環境づくりと、職員会議での事例検討とマニュアル確認を行う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① 成年後見制度についての勉強会を実施出来ていなかった。 ② 事例検討まではいかなかったが日々のケアや職員会議の中で、職員同士対応方法などの確認を行う事ができていた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	3			14
②	虐待は行われていない	12	2			14
③	プライバシーが守られている	5	9			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	5	7	14
⑤	適正な個人情報の管理ができています	8	5	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束について定期的に研修を行い、スタッフ間で周知できている。玄関は施錠せず、「外に行きたい」という要望があれば一緒に外出し自由な生活を支援している。 ・身体拘束ゼロや虐待防止の基本的なことは勉強会やケア会議で理解し、全職員が実践できている。 ・拘束や虐待は行っていない。プライバシーや情報は守られている。 ・個人情報が載っているものは車内に置きっぱなしにしない。また、携帯にはロックを掛けている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・成年後見制度について利用する人がいなかった為、理解できている職員も少ない。 ・個人情報の管理については、できている部分(カルテの管理、同意書)はあるが、事態に即したものであるか見直しが出来ていない。 ・ケアの対応の仕方によって、ご本人の立場からしたらプライバシーが守られていないと感じる内容があった。また、トイレに入る際の声掛けで、大きな声で「汚れていないか見せて」と入る職員がいる。 ・ご利用者に「ちょっと待って」と言ってしまう事ある。スピーチロックが聞かれる時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 成年後見制度や個人情報管理について勉強会を行い、理解を深める。 ② 虐待やプライバシーについて話し合う場を設け、職員の考え方を統一する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 友の会	代表者	大罵 泰雅	法人・ 事業所 の特徴	当事業所は JR 八戸駅より車で5分程にある田面木地区にあり、古くからの住宅地です。国道104号線沿いにあり、八戸市の景勝のひとつ、在家堤（ざいけつつみ）に面しています。町内会や地域の協力の下、認知症高齢者や独居高齢者の暮らしの支援を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム ほっとハウス	管理者	水野 雄大		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	高齢者支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	2人	1人	3人	2人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	① 新型コロナウイルスにより、自己評価できていない部分があった為、コロナ禍でも自己評価できやすいような事前説明を行う。	① 自己評価前には事前に勉強会を実施し、職員全員の認識の周知を図っている。	○自己評価の理解、毎日のケアの振り返りなど、実際の業務に即した効果的な実施が来ていると思います。 ○会議の参加者が3人と少ない日もあり、不参加者への教宣を充分にする必要を感じました。	① 今後も自己評価に早めに取り組めるように、勉強会の実施と環境作りを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	① ケアプランの見直し時、ご利用者を対象に、ケア会議時にサービス内容について（アプローチ方法やケアの仕方など）を詳しく話し合い、職員で共有し統一した対応ができるようにしていく。 ② 高齢者世帯や日中独居世帯の状態を把握し、地域資源の活用に結び付けていく。	① 総合的にみると出来ていたと思うが、担当ご利用者以外の事だとできていないように感じる。また、少し期間が開くと忘れてしまうこともあった。 ② 訪問等で状態を確認した内容を申し送り、他職員に情報共有した後、利用者のニーズに即した地域資源を支援へと結び付けていた。	○ほっとハウスさんの施設内の環境や手作り感ある装飾は良いと思います。立地に関しても、住民が認識しやすい場所にあります。コロナ禍の中、地域住民に設備について見て頂くことは難しいかもしれません。（AED設置アピールを掲示板に表すとか） ○事業所の間取りが、共有スペースにトイレが近く、自己評価のプライバシー項目に記載があったが、トイレ周辺で配慮が必要なシチュエーションに注意を必要すると思います。 ○感染予防をしながらの支援ですので普段より気を遣うことは多いと思います。同封の写真を見ましたが、皆さんの笑顔で楽	① 担当職員がご利用者の情報収集や状況を把握し、ケアの内容をまとめ会議等で話し合い意見交換する事で、次の対応につなげていく。 ② AED や施設の環境状況について掲示板に掲げ、地域の皆様に理解していただく。

			しく過ごしていることが伝わります。	
C. 事業所と地域のかかわり	① 新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、掲示物の内容を話し合い、地域の方と交流を図れる物やボランティア募集など工夫をしていく。また、公民館で慰問活動をしている団体に依頼をする。	① 新型コロナウイルスの感染拡大の為、ボランティアや慰問活動など地域の方と交流する機会はなかったが、運営推進会議の中で、地域の方の話や意見を聞くことが出来た。	○①、②とてもいい案だと思います。小規模多機能とは何か具体的に、どのようなサービスを受けられるのか理解できれば良いと思います。 ○オレンジカフェなどの取り組みを通じ、理解を深める事も良いと思いました。	① 地域貢献・広報委員会を中心に掲示板の内容を定期的に検討し、地域の方に小規模多機能居宅介護や施設の様子を知って頂く。 ② サービス担当者会議に、ケアマネだけではなく事業所職員も参加し、他のサービス機関との連携・協働を図っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	① どういった地域資源があるのか、またその活用方法について勉強会を行う。	① 地域資源についての勉強会ができていなかった。その為、現在活用している資源は理解しているが、それ以外にどのような地域資源があるのか理解できていなかった。	○高齢者支援センターとして、地域の社会資源の情報は関心があります。お互いの情報共有が出来ればよいと思います。 ○コロナ後の対策を検討すべきと思います。	① 地域でみていく為に、民生委員の役割や社会資源の内容、活用するまでの流れについて勉強会を通じて理解するとともに、事業所の活動について知って頂けように、地域の方々との話し合いの場を設ける。
E. 運営推進会議を活かした取組み	① インシデント・アクシデントの報告書が完成したら、提出用と回覧用を用意し、すぐに他職員が回覧できるようにする。すぐに職員間での情報共有をし、再発防止に努めていく。 ② プライバシーや虐待について、日常のケアの中で職員同士確認しあえる環境づくりと、職員会議での事例検討とマニュアル確認を行う。	① インシデントやアクシデントについては速やかに報告書を作成し、全職員が周知できる環境を整えることが出来たため、すぐに改善策を実行でき、利用者が安全に過ごしていただけよう対応できた。 ② 事例検討まではいかなかったが日々のケアや職員会議の中で、職員同士対応方法などの確認を行う事ができていた。	○個人情報特定されない条件の元で、意見をいただく形であればよいかもしれません。 ○地域に老人施設があるということは、それだけでも地域住民にとって有益。存続に意味があるのであれば、その為にも利用者の情報共有を求めてもいいのでは？	① 在宅での介護や認知症、虐待などについて、事業所でのケースや事例をもとに、それぞれの意見を頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	① 災害時や感染症などがあつた際でも、安定した運営ができるような体制作りを行う。	① 事業継続計画を法人全体で取り組み、災害時や感染症時の体制作りに取り組んでいる。	○BCPの作成時に、小規模の役割まで取り入れた計画も必要になってくると思います。	① 事業継続計画の体制づくりが出来次第、職員全員へ周知を図っていく。